

4. 2 対外的発表

4. 2. 1 論文など

2. 2

論文発表

著者	題名	発表先	発表年月日
林 広樹, 他	千葉県南部鴨川中深層観測井の坑井地質と地質年代	防災科学研究報告, no. 65	平成 16 年 (印刷中)

口頭発表、その他

著者	題名	発表先	発表年月日
林 広樹, 笠原敬司	大深度ボーリング掘削から見た関東平野の地下地質—特に堆積層の分布形態について	日本地質学会第 110 年学術大会、日本地質学会、静岡市	平成 15 年 9 月 19 日
山水史生, 笠原敬司, 須田重幸, 川中 卓	鴨川観測井を利用した VSP 法速度構造調査	日本地震学会 2003 年度秋季大会、日本地震学会、京都市	平成 15 年 10 月 7 日
林 広樹, 笠原敬司	関東平野の深層観測井における堆積層の深度—年代モデル	日本地震学会 2003 年度秋季大会、日本地震学会、京都市	平成 15 年 10 月 7 日
山田隆二, 林 広樹, 笠原敬司,	大谷石の FT 年代測定—栃木県中央低地の構造発達史の解明に向けて	第 28 回日本フィッシュントラック研究会、日本フィッシュン・トラック研究会、石川県吉野谷村	平成 15 年 12 月 12 日
林 広樹, 笠原敬司	微化石でみた関東平野の基盤構造	第 2 回有孔虫研究会、有孔虫研究会、秋田県田沢湖町	平成 16 年 3 月 4 日

2. 3

著者	題名	発表先	発表年月日
S. Hori	Seismic activity associated with subducting motion of the Philippine Sea plate beneath the Kanto district, Japan	Workshop on seismic activity and probabilities of major earthquakes in the Kanto and Tokai area, central Japan, NIED, Tsukuba, Japan	平成 16 年 3 月 11 日

H. Kimura and K. Kasahara	Spatial relation between interplate seismic activity and the seismic reflector beneath the east off Boso Peninsula indicated by P-S converted waves	IUGG 2003, IUGG, Sapporo Japan	平成 15 年 7 月
木村尚紀, 五十 嵐俊博, 平田直, 笠原敬司	関東地方の相似地震活動	日本地震学会秋季大会、 日本地震学会、京都市	平成 15 年 10 月
H. Kimura and K. Kasahara	Detailed Structure of Plate Boundary Revealed by Seismic Reflection Survey and Spatial Relation With Interplate Seismic Activity Indicated by Converted Waves, East off Boso Peninsula, Japan	AGU 2003 Fall Meeting, AGU, San Francisco USA	平成 15 年 12 月
H. Kimura	Activities of small repeating earthquakes around Kanto district ~Off Boso peninsula, correlation with Slow Slip Event~	Workshop on the Seismic Activity and Probabilities of Major Earthquakes in the Kanto and Tokai Area, Central Japan, NIED, Tsukuba Japan	平成 16 年 3 月

2.4

著者	題名	発表先	発表年月日
柳沢幸夫, 高橋雅紀, 渡辺真人, 木村克己, 田中裕一郎	2.4 大深度ボーリング試料に よる地質年代調査	大都市大震災軽減化特別 プロジェクト 1 地震動 (強い揺れ) の予測「大 都市圏地殻構造調査研 究」、文部科学省研究開発 局、東京大学地震研究所、 京都大学防災研究所、独 立行政法人防災科学技術	平成 15 年 5 月 7 日

		研究所, pp. 223-242	
林 広樹, 高橋雅紀	栃木県烏山地域に分布する中 新統荒川層群上部の浮遊性有 孔虫層序	地質学雑誌, Vol. 110, No. 2, pp. 85-92.	平成 16 年 2 月
高橋雅紀, 林 広樹	群馬県富岡地域に分布する中 新統の地質と複合年代層序	地質学雑誌, Vol. 110, No. 3, pp. 175-194.	平成 16 年 3 月
林 広樹, 高橋 雅紀, 柳沢幸夫, 山水史生, 渡辺 真人, 堀内誠示, 長谷川四郎, 笠 原敬司	千葉県南部鴨川中深層観測井 の坑井地質と地質年代	防災科学技術研究所報 告, Vol. 65, pp. 99-120.	平成 16 年 3 月

3.2.1

著者	題名	発表先	発表年月日
宮内崇裕, 小島 淳, 大野恵, 上 杉陽	ボーリングコアの解析からみ た足柄平野東縁部の古環境変 遷と国府津松田断層の地震性 地殻変動	2004年地球惑星科学合同 学会, 幕張	平成 16 年 5 月 11 日
千代延俊, 佐藤 時幸, 石川謙一	関東地方中央部における石灰 質ナノ化石層序と地下構造	日本地質学会第 110 年学 術大会	平成 15 年 9 月 21 日

3.2.2

著者	題名	発表先	発表年月日
宮内崇裕, 中田 高	南房総における元禄汀線の位 置とその直前に発生した大正 型地震の時期	地震学会	平成 15 年 10 月

3.3.1

著者	題名	発表先	発表年月日
呉長江	Estimation of fault geometry and	東京大学博士論文	2004 年 3 月

	slip-weakening parameters from waveform inversion and application to dynamic ruptures of earthquakes on a bending fault		
Hikima, K. and Koketsu, K.	Source processes of the foreshock, mainshock and largest aftershock in the 2003 Miyagi-ken Hokubu, Japan, earthquake sequence	Earth Planets Space, 56, 87-93	2004
Yamanaka, Y. and Kikuchi, M.	Source process of the recurrent Tokachi-oki earthquake on September 26, 2003 inferred from teleseismic body waves	Earth Planets Space, 55, e21-e24	2003
山中佳子, 菊地正幸	2003年十勝沖地震は1952年の再来地震か?	日本地震学会 2003年度秋季大会	2003年10月
Koketsu, K., Hikima, K., Miyazaki, S., and Ide, S	Joint inversion of strong motion and geodetic data for the source process of the 2003 Tokachi-oki, Hokkaido, earthquake	Earth Planets Space, Vol. 56, 329-334	2004
鷺谷威	GPSによるゆっくり地震の解析	科学, Vol. 73, pp. 1006-1011	2003
鷺谷威	地殻活動予測のための地殻変動データ同化	月刊地球, Vol. 25, pp. 687-693	2003
鷺谷威	GPSでみた次の関東地震	地震ジャーナル, Vol. 36, pp. 14-21	2003
Sagiya, T.	The continuous GPS network of Japan and its impact on earthquake prediction,	IUGG2003, JSS01/30P/A03-003	2003
鷺谷威	房総半島沖の非地震性すべりに伴う群発地震活動	日本地震学会 2003年秋季大会, A051	平成15年10月7日
Sagiya, T.	Interplate coupling and episodic aseismic faulting on the Sagami Trough plate boundary: Implications for future seismic hazard	AGU 2003 Fall Meeting, S51G-05	Dec. 12, 2003

小林励司, 瀨瀨一起	測地及び遠地・近地波形データの同時インバージョンによる 1923 年関東地震の震源過程	日本地震学会 2003 年度秋季大会	平成 15 年 10 月 6 日
Kobayashi, R., and Koketsu, K.	Source process of the 1923 Kanto earthquake from geodetic, teleseismic and strong motion data	AGU 2003 Fall Meeting	平成 15 年 12 月 12 日
小林励司, 瀨瀨一起	3 次元グリーン関数を用いた震源過程の解析: 1923 年関東地震	地球惑星科学関連学会 2004 年合同大会	平成 16 年 5 月 12 日

3.3.2

著者	題名	発表先	発表年月日
都司嘉宣	元禄地震(1703)とその津波による千葉県内各集落での詳細被害分布	歴史地震, 第 19 号, 8-16	平成 16 年 3 月 31 日
行谷佑一, 都司嘉宣, 上田和枝	寛政五年(1793)宮城県沖に発生した地震の詳細震度分布と津波の状況	歴史地震, 第 19 号, 80-99	平成 16 年 3 月 31 日
神野達夫, 境有紀, 瀨瀨一起	応答スペクトルを用いた震度算定方法の提案(その 3) 計測震度と提案震度の関係についての考察	日本建築学会大会	平成 15 年 9 月 6 日
境有紀, 中村友紀子, 瀨瀨一起	2003 年十勝沖地震の強震観測点周辺の被害と強震記録の性質	日本地震学会 2003 年度秋季大会	平成 15 年 10 月 7 日
境有紀, 瀨瀨一起, 坂上実, 神野達夫	2003 年宮城県沖・宮城県北部の地震による建物被害と震度との対応性	日本地震学会 2003 年度秋季大会	平成 15 年 10 月 8 日
境有紀, 瀨瀨一起, 神野達夫, 中村友紀子	2003 年宮城県沖・宮城県北部の地震による建物被害と強震記録の性質	日本地震工学会大会	平成 15 年 11 月 13 日
境有紀, 中村友紀子, 瀨瀨一起	建物被害と地震動との対応性、2003 年(平成 15 年)	十勝沖地震被害調査報告会	平成 15 年 12 月 5 日

境有紀, 瀬瀬一起, 坂上実	強震観測点周辺の建物被害状況	2003年宮城県北部地震シンポジウム 地震から6ヶ月-震源域の地盤調査・地震災害調査で何が説明されたか	平成16年1月31日
----------------------	----------------	---	------------

3.4.1

著者	題名	発表先	発表年月日
Ando, R., Tada, T., and Yamashita T.	Dynamic evolution of a fault system through interactions between fault segments	Journal of Geophysics Research	平成16年 (in press)
Aochi, H. and Ide, S.	Numerical Study on Multi-Scaling Earthquake Rupture	Geophys. Res. Lett., 31(2), 10.1029/2003GL018708	平成16年
Hisada, Y. and J. Bielak	A Theoretical Method for Computing Near-Fault Strong Motions in Layered Half-Space Considering Static Offset due to Surface Faulting, with a Physical Interpretation of Fling Step and Rupture Directivity	Bull. of the Seism. Soc. of America, Vol. 93, No. 3, pp. 1154-1168	平成15年
Ide, S.	Fracture surface energy of natural earthquakes from the viewpoint of seismic observation	Bull. Earthquake Research Institute, 78, 1, 59-66	平成15年
Ide, S., Beroza, G. C., Prejean, S.G., and Ellsworth, W.L.	Apparent break in earthquake scaling due to path and site effects on deep borehole recordings	Journal of Geophysical Research, 108, doi:10.1029/2001JB001617	平成15年
加瀬祐子, 関口春子, 石山達也, 堀川晴央, 佐竹健治, 杉山雄一	活断層情報から推定した不均質応力場中の動的破壊過程のシミュレーション：上町断層系・生駒断層系への応用	活断層・古地震報告, 第3号, 261 - 272	平成15年

宮武隆, 吉見雅行, 寺坂美紀	強震動シミュレーションのためのすべり速度時間関数の近似式(2)不均質な横ずれ断層への応用と改良式	地震 2, 第 56 巻, 125-139	平成 15 年
吉見雅行, 宮武隆, 東原紘道	震源近傍の特定地点に特定の周期帯の波を卓越させる地震断層モデルー全無限等方均質弾性体における検討ー	土木学会応用力学論文集 Vol. 6、799-808	平成 15 年

口頭発表、その他

著者	題名	発表先	発表年月日
安藤亮輔, 山下輝夫	断層破碎帯の生成過程：断層面外破損のモデル化とシミュレーション	日本地震学会, 京都	平成 15 年 10 月 6 日
青地秀雄, 井出哲	Numerical Study on Multi-Scaling Earthquake Rupture	日本地震学会, 京都	平成 15 年 10 月 6 日
加瀬祐子, 関口春子, 杉山雄一, 石山達也, 堀川晴央, 佐竹健治	活断層情報から推定した断層モデル・応力場での六甲・淡路断層系の動的破壊過程：兵庫県南部地震との比較	日本地震学会, 京都	平成 15 年 10 月 6 日
井出哲	強震計と海底地震計を用いた 2003 年十勝沖地震の震源過程解析ー高速破壊は S 波速度を超えたか？	日本地震学会, 京都	平成 15 年 10 月 8 日
井出哲, 松原誠, 小原一成	Hi-net 1k sps データを用いた地震エネルギーの推定：2000 年鳥取県西部地震の余震活動について	日本地震学会, 京都	平成 15 年 10 月 6 日
井出哲, 青地秀雄	Numerical Study on Multi-Scaling Earthquake Rupture	米地球物理学会 (AGU) 秋季大会、アメリカ・サンフランシスコ	平成 15 年 12 月
Miyatake, T., Yasuda, T., and Yagi, Y.	The dynamic rupture process of the 2001 Geiyo, Japan, earthquake	米地球物理学会 (AGU) 秋季大会、アメリカ・サンフランシスコ	平成 15 年 12 月 8 日
Miyatake, T., Yasuda, T., and Yagi, Y.	The rupture process of the 2001 Geiyo, Japan, earthquake	Workshop on Numerical Modeling of Earthquake Source Dynamics,	平成 15 年 9 月 1 日

		Bratislava, Slovakia	
Kase, Y., Sekiguchi, H., Ishiyama, T., Horikawa, H., Satake, K., and Sugiyama, Y.	Simulation of dynamic rupture processes on active faults, within heterogeneous stress fields	Workshop on Numerical Modeling of Earthquake Source Dynamics, Bratislava, Slovakia	平成 15 年 9 月 1 日

3.4.2

著者	題名	発表先	発表年月日
Mikumo, T. and Fukuyama, E.	Seismic radiation energy and its relation to fracture energy on earthquake faults	アメリカ地震学会雑誌 (BSSA) 投稿中	平成 16 年 (予定)

3.4.3

著者	題名	発表先	発表年月日
Aochi, H. and Ide, S.	Numerical Study on Multi-Scaling Earthquake Rupture	Geophys. Res. Lett., 31(2), 10.1029/2003GL018708	平成 16 年 2 月
青地秀雄, 井出哲	Numerical Study on Multi-Scaling Earthquake Rupture	米地球物理学会 (AGU) 秋 季大会、アメリカ・サン フランシスコ	平成 15 年 12 月

3.5.1

著者	題名	発表先	発表年月日
山田伸之, 山中浩明	関東平野における地下構造モ デルの比較のための中規模地 震の地震動シミュレーション	地震 2, 第 56 巻, 第 2 号, 111-123, 2003	平成 15 年 9 月
山中浩明, 枇谷亜紀, 山田伸之	ニューラルネットワークによ る強震記録の初動走時の読み 取り	第 22 回日本自然災害学 会学術講演会講演概要 集, 25-26, 2003	平成 15 年 9 月 18 日
山田伸之, 山中浩明, 小山信	微動アレイ観測と爆破地震動 観測による関東平野北西部に おける地下構造モデルの改良 —地震動シミュレーションの	2004 年地球惑星関連科学 合同大会 3	平成 16 年 5 月

	ための地下構造モデルの構築 ー		
Sato, H., Higashi, S. and Y. Shiba	Effects of Qs-model on three-dimensional simulation of seismic motion	13th World Conference on Earthquake Engineering, Vancouver, B.C., Canada	平成 16 年 8 月
佐藤浩章	地盤の S 波速度の揺らぎと Q 値の周波数依存性の関係	日本建築学会大会（北海 道）	平成 16 年 8 月
T. Furumura	Parallel 3D Simulation of Seismic Wave Propagation Using the Earth Simulator	AGU Fall Meeting, California	平成 15 年 12 月 11 日
古村孝志	地震波が巨大構造物を襲う	NHK スペシャル	平成 15 年 1 月 18 日

3.5.2

著者	題名	発表先	発表年月日
若松加寿江, 松岡昌志	大都市圏を対象とした地形・ 地盤分類 250m メッシュマップ の構築	土木学会地震工学論文集	平成 15 年 12 月 10 日
藤本一雄, 翠川三郎	広域地振動マップー2003 年の 3 地震の場合ー	地球惑星科学関連学会 2004 年合同大会	平成 16 年 5 月 11 日 (予 定)
久田嘉章, 川上洋介	関東平野における設計用地震 応答スペクトルの提案 (その 1 : 地震基盤における地震動)	日本建築学会学術講演梗 概集 B	平成 15 年 9 月 7 日
川上洋介, 久田嘉章	関東平野における設計用地震 応答スペクトルの提案 (その 2 : 工学的基盤における地震 動)	日本建築学会学術講演梗 概集 B	平成 15 年 9 月 7 日
山田悦子, 久田嘉章, 秋山友昭, 福本俊一	関東平野における設計用地震 応答スペクトルの提案 (その 3 : 工学的基盤からの地盤増 幅に関する検討)	日本建築学会学術講演梗 概集 B	平成 15 年 9 月 7 日
瀬瀬一起	平成 15 年度 (2003 年) 十勝沖 地震 : 地震動の特性	2003 年 (平成 15 年) 十 勝沖地震被害長重報告会 概要集	平成 15 年 12 月 5 日

Koketsu, K., Yamanaka, Y., Hikima, K., Kikuchi, M., Furumura, T., and Hatayama, K.	The 2003 Tokachi Oki, Japan, Earthquake: Source Process and Strong Ground Motions	American Geophysical Union Fall Meeting	平成 15 年 12 月 12 日
--	---	--	----------------------

3.5.3

著者	題名	発表先	発表年月日
瀬瀬一起	強震動シミュレーションと地 下構造調査	活断層調査成果および堆 積平野地下構造調査成果 報告会	2003 年 11 月 6 日
松波孝治・大見 士朗	近畿圏強震動データ統合化シ ステムの構築に向けて (1)	京大防災研究所・平成 15 年度研究発表講演会	平成 16 年 2 月 19 日

3.6.1

著者	題名	発表先	発表年月日
西上欽也 Anshu Jin	散乱波トモグラフィーによる 中国地方東部の地殻不均質構 造-Hi-net データによる日本 全域解析に向けて-	日本地震学会 2003 年度 秋季大会	平成 15 年 10 月 8 日
K. Nishigami Anshu Jin	Crustal heterogeneity in the eastern Chugoku region, Japan, estimated by coda envelope inversion: Toward mapping the nationwide heterogeneity using the Hi-net data	AGU Fall Meeting	平成 15 年 12 月 11 日
Mizuno, Nishigami, Ito, Kuwahara	Deep structure of the Mozumi-Sukenobu fault central Japan estimated from the subsurface array observation of fault zone	Geophys. J. Int.	平成 15 年 3 月 26 日受 理

	trapped waves		
--	---------------	--	--

3.6.3

著者	題名	発表先	発表年月日
伊藤 潔	人工地震による中部地方の地震波速度構造	月刊地球、25 巻 pp. 945-952	2003
上野友岳 伊藤 潔 和田博夫 吉井弘治 松村一男	跡津川断層周辺における地下構造と地震活動	地球惑星科学関連学会	2003. 05
Ito K. K. Yoshii	Seismogenic layer and crustal structure in inner zone of Southwest Japan	IUGG General Meeting	2003.06
Ito K. T. Ueno K. Yoshii	Seismogenic layer and seismic reflectors in the crust with reference to large earthquakes	AGU Fall meeting	2003.12
赤松純平・ 駒澤正夫・ 中村佳重郎・ 西村敬一	京都・奈良盆地系の重力基盤構造について	平成 15 年度京都大学防災研究所研究発表講演会	2004. 2. 20

3.7.1

論文発表

著者	題名	発表先	発表年月日
西村宗・橋本学	近畿地方周辺のGPS速度場とテクトニクス	日本地震学会 2003 年度秋季大会	平成 15 年 10 月 7 日
西村宗・橋本学	近畿地方のGPS速度場を説明する剛体運動・弾性変形の重ね合わせモデル	平成 15 年度京都大学防災研究所研究発表講演会	平成 16 年 2 月 20 日
Nishimura, S, and M. Hashimoto	Strain concentration in southwest Japan and a simultaneous inversion model with rigid rotations	The 2 nd International Symposium on Slip and Flow Processes in and below the Seismogenic	平成 16 年 3 月 11 日

	and slip deficits	Region	
Tabei, T., M. Hashimoto, S. Miyazaki, and Y. Ohta	Present-day deformation across the southwest Japan arc: Oblique subduction of the Philippine Sea plate and lateral slip of the Nankai forearc	Earth, Planets and Space, Vol.55, No.10, p643-647.	平成 15 年 10 月
金紅林	Estimation of fault slip using a new inversion method based on spectral decomposition of Green' s function	東京大学大学院理学系研究科, 博士論文	2004 年 3 月

口頭発表、その他

発表者	題名	発表先、主催、発表場所	発表年月日
金紅林	Estimate of Coupling along the Subducting Plate Boundary around the Japanese Islands based on a New Inversion Method	IUGG 総会, IUGG, 札幌	平成 15 年 7 月日
金紅林	Examples of slip distribution estimated using the new inverse method based on spectral decomposition of Green' s function	測地学会第 100 回講演会, 測地学会, 東京	平成 15 年 10 月 24 日

3.7.2

著者	題名	発表先	発表年月日
Mamoru Hyodo and Kazuro Hirahara	A viscoelastic model of interseismic strain accumulation in Niigata-Kobe Tectonic Zone of central Japan	Earth Planets Space, 55, 667-675	2003 年 11 月
Ito, T. and M. Hashimoto	Spatiotemporal distribution of interplate coupling in southwest Japan from inversion of geodetic data	Journal of Geophysical Research, Vol.109, B02315, doi:10.1029/2002JB0023	平成 16 年 2 月 10 日

		58	
金城聡・川崎一朗	GEONET データの一般ユーザーとしてのノイズ削減策	地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会 D008-005	2003 年 5 月 29 日
廣瀬一聖・川崎一朗・他	潮汐定数の時間変化・空間分布と地震発生	日本測地学会第 100 回講演会 50.	平 15 年 10 月 24 日
工藤 健 古本宗充	リソスフェア強度の異方性について－(1)北米プレート・ベーズンにおける検証－	地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会	平成 15 年 5 月
T. Kudo T. Nohara H. Kinoshita A. Yamamoto R. Shichi	Variations of standard deviation of gravity anomalies in Chugoku District, Japan: Relationship with distributions of topographic lineaments	American Geophysical Union, Fall Meeting 2003	平成 15 年 12 月
T. Kudo A. Yamamoto T. Nohara H. Kinoshita R. Shichi	Variations of gravity anomaly roughness in Chugoku District, Japan: Relationship with distributions of topographic lineaments.	Earth, Planets and Space 誌	平成 16 年 3 月 (投稿中)

3.8.1

著者	題名	発表先	発表年月日
Asano, K., T. Iwata, and K. Irikura	Ground Motion Characteristics and Source Process of the 2002 Denali Earthquake Inferred from the Strong Motion Records	American Geophysical Union Fall Meeting	11, Dec. 2003
浅野公之・岩田知孝・入倉孝次郎	2002 年アラスカ・デナリ地震の震源過程と強震動	地球惑星科学合同大会	2004 年 5 月
Kame, N. and Yamashita, T.	Dynamic branching, arresting of rupture and the seismic wave radiation in	Geophysical Journal International	vol. 55, pp. 1042-1050,

	self-chosen crack path modeling		2003
亀 伸樹	Numerical Procedure for Reduction of Computation Time in BIEM for Elastodynamic Analysis of Non-planar Faults	日本地震学会秋季大会	2003年 10月6日
Kame, N.	Numerical Procedure for Reduction of Computation Time in BIEM for Elastodynamic Analysis of Non-planar Faults,	American Geophysical Union Fall Meeting	11, Dec. 2003
Kame, N., Rice, J. R. and Dmowska R.	Effects of Pre-Stress State and Rupture Velocity on Dynamic Fault Branching	International Union of Geodesy and Geophysics 2003 General Assembly	3, Jul., 2003
亀 伸樹	分岐断層構造における動的破壊のシミュレーション	地球惑星関連合同学会	2003年 5月27日
竹中博士 藤井雄士郎	グリッドモデルを用いた運動学的震源インバージョン	日本地震学会秋季大会	2003年 10月6日
Fujii, Y. and Takenaka, H.	Grid Approach for Kinematic Source Inversion	American Geophysical Union Fall Meeting	11, Dec. 2003
後藤浩之, 澤田 純男	拡張カルマンフィルタによる震源動力学的パラメータの直接インバージョンの試み	地球惑星科学関連学会 2004年合同大会	平成16年5 月12日
Hiroyuki GOTO, Sumio SAWADA	Numerical Simulation of Strong Ground Motion on Adapazari Basin during the 1999 Kocaeli, Turkey, Earthquake	13th World Conference on Earthquake Engineering	平成16年8 月1日-6日

3.8.2

著者	題名	発表先	発表年月日
Mori, J. and H. Tanaka	Frictional Heat and Radiated Energy Budget for the 1999 Chichi, Taiwan Earthquake	IUGG 2003, General Assembly	3 July 2003
Mori, J. and A. Kim	Scaling of Radiated Energy for Intermediate Depth	日本地震学会	2003年10 月6日

	Earthquakes		
Mori, J.	Source Process of the 1999 Chi-Chi, Taiwan Earthquake: Comparisons to Shallow Faulting in Subduction Zones	American Geophysical Union Fall Meeting	11 Dec. 2003
泉谷恭男	大地震と小地震の相似性に関する考察	土木学会第58回年次学術講演会	平成15年9月24日
笹谷 努 森川信之	スラブ内大地震とプレート境界大地震の震源特性の比較	日本地震工学会大会－2003梗概集，特72－特73	平成15年11月12日
Maeda, T. and T. Sasatani	Upper mantle Qs structure and its effects on strong ground motions	IUGG2003, Sapporo, Japan, SS04a/09P/D-041	June 30 - July 11, 2003
木村武志・笥楽麿	2001年兵庫県北部地震の震源過程，およびそれに伴う群発地震活動と Δ CFFの関連	地球惑星科学関連学会合同大会	平成15年5月28日
笥 楽麿	強震波形のインバージョンによる2001年芸予地震の震源過程：Green関数の見直し	日本地震学会秋季大会	平成15年10月6日
Yasumaro Takehi	Source and path modeling of the 2001 Geiyo earthquake and the strong ground motions	American Geophysical Union, Fall Meeting	平成15年12月12日
堀家正則	強震ネットワーク（K-NET）データから推定した水平動と上下動の最大速度距離減衰式、	日本建築学科構造系論文集	平成15年1月

3.8.3

著者	題名	発表先	発表年月日
長郁夫 趙伯明 香川敬生 岩崎好規	サイト増幅特性の理論的評価と浅部および深部地盤構造のモデル化	日本地震工学会大会－2003， 日本地震工学会，横浜（慶応大学）	平成15年11月13日
釜江克宏 川辺秀憲 入倉孝次郎	海溝型地震の震源のモデル化と強震動評価	地球惑星科学関連学会2003年合同大会， S069-005	平成15年5月29日

川辺秀憲 釜江克宏 入倉孝次郎	理論的，半経験的地震動評価手法を用いた想定南海地震・想定東南海地震時の強震動予測	日本建築学会大会学術講演梗概集，構造 II， pp.161- 162	平成 15 年 9 月 7 日
Hidenori KAWABE and Katsuhiro KAMAE	Improvement of 3-dimensional basin structure model using ground motion recordings	Proceedings of the 13 th World Conference on Earthquake	2004 August (in press)
松波孝治， 大見士朗	近畿圏強震動データ統合化システムの構築に向けて（1）	京大防災研究所・平成 15 年度研究発表講演会	平成 16 年 2 月 19 日